

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

34

子育て支援課

補助金の名称 (規則・要綱名)	西尾市放課後児童健全育成事業費等補助金(民営児童クラブ)		
	西尾市放課後児童健全育成事業費補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	放課後児童健全育成事業を実施する団体等の事業に要する経費に補助金を交付する。		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	5,315,783円	6,863,000円	6,294,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	国県協調補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	H27	終了年度(予定) 未定
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2017/04/07受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	0円	0円	0円
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****
	※ 検討していない理由	*****	
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以上である
	※ 補助対象経費の額	6,294,000円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****		
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続		
	補助対象経費の概ね3分の2は、国・県の補助(国県協調補助金)である。市直営の児童クラブのマンモス化の軽減に大きく寄与している。		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

34

子育て支援課

補助金の名称 (規則・要綱名)	西尾市放課後児童健全育成事業費等補助金(民営児童クラブ)	
	西尾市放課後児童健全育成事業費補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	3 子育て・教育・文化・スポーツ 地域を支える文化と人を育む環境づくり
	項による分類	1 子育て
	施策内容による分類	1 多様なニーズに応じた子育て支援
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	民営児童クラブ運営に要する経費に対して補助金を交付し、昼間保護者のいない家庭の小学校児童の健全育成の向上を図る。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	すべての民営児童クラブ(1箇所)に補助金を交付している(100%)。	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	目標達成
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	民営児童クラブを利用する児童と保護者	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	一部偏りがある
⑥補助金の交付先を記載してください。	放課後児童健全育成事業を実施する団体	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	多様なニーズに応じた子育て支援の推進と市の運営する児童クラブの待機児童ゼロに寄与している。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	補助事業を実施するための経費について、実績報告書の提出を求め、提出書類の審査をしている。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成28年03月01日
	改定年月日(最終)	平成28年03月01日

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

34

子育て支援課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	5,315,783円	5,748,539円	6,294,000円	
	補助件数	1件	1件	1件	
	財源	国庫県費	3,543,854円	3,832,358円	4,196,000円
		その他			
		一般財源	1,771,929円	1,916,181円	2,098,000円
国庫県費等の名称	国…子ども・子育て支援交付金、県…愛知県地域子ども・子育て支援事業費補助金				

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
B	B	B	B	B	B	B
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	現状維持		次世代を担う子供たちの居場所として大きな役割を果たしており、利用者の声を大切にするとともに他部局や民間なども連携して、よりよい事業になるようにしていただきたい			
補助金等検討委員会の主な意見						
公設の児童クラブも含めて民間活力の導入を進めていただきたい。						